

## 第2節「固定資本の構成部分、補填、修繕、蓄積」 p248-268

・固定資本の個々の要素は、生存期間を異にし、したがって回転期間をもこととする。

## (摩損)

p248-例えば鉄道…鉄条、枕木、土工、停車場建設、橋、トンネル、機関車車両

p249-摩損物のもっとも主要なものは軌道と車両である。

-摩損は第一に使用そのものによって起こされる。

p250-摩損は、さらに自然力の影響によっても生ずる。

p251-早期の経営設備更新を、比較的大きな社会的規模で強要するものは、主として恐慌という破局である。

-摩損は…固定資本がその消耗によってその消耗によってその使用価値を失う平均程度に比例して、漸次に生産物に引き渡す価値部分である。 ※平均寿命

## (補填、修繕)

p251-固定資本の他の諸要素については、周期的または部分的更新が可能である。

- (それは) 事業経営の漸次的拡張とは区別されねばならない。

- 部分的更新される…鉄条、枕木、

p252-期間を異にして摩損し、期間を異にして補填される。

- その価値の一部は、平均摩損度に応じて、生産物とともに流通し、貨幣に転化され…資本補填のための貨幣準備基金の要素を形成する。

p254-(維持費) 労働過程で機能していないときに損傷(例-借地)

労働過程における使用から生ずる維持は生きた労働に具わる無償の天恵である。

p255-保存のための積極的な労働支出…掃除労働

- 機械の使用が必要ならしめる不断の追加労働

- この(追加)労働に支出される資本は…本来の労働過程に入るのはないが、やはり流動資本に属する。

- この掃除労働は、労働者によって休息時間中に無償で行われ…

p256- … 生産物の価格には算入されず…消費者は、これを無償で受け取り、資本化は彼の機械の維持費をただで得る…労働者が自己の一身をもって支払う

- 本来の修繕または補綴(ほてい)作業は、資本と労働を必要とするが…(これは)前貸しされた資本中には含まれず…必要に応じて前貸しされる追加的価値構成部分(p257-追加的資本支出)である

p257-二種類の修繕労働…幼年期の故障、中年以降のはるかにより多くの故障

修繕労働は、固定資本の生涯の種々の時期に、不均等に分配されている。

p258-修繕に必要な追加資本…追加支出によって付加される価値が、現実の支出と同時に商品の価格には入り得ない。※偶然的な破損?

・ 固定資本の平均耐用期間中に生ずる…維持修繕労働の…平均支出は…分割されて生産物の価格に追加され、販売によって回収される。

・ (この)追加資本は…流動資本に属する。

p259-修繕のために支出される資本は、…流動資本にも固定資本にも分類されないが、  
経常支出に属するものとしては、より多く前者(流動資本)に属する…独特な資本  
を形成する。

#### (簿記の仕方)

- ・ 修繕費を固定資本の現実の摩損と一緒に計上する慣習が多く、の事業部門にある。
- ・ ?…汽船の例、機関車の例(p260)
- ・ 家屋の賃貸契約の例…正常の摩損(所有者の負担)と臨時的修繕(賃借人の負担)、

#### (保険)

p261-摩損の補填とも、維持および修繕の労働とも全く異なる…自然的異変、火災。  
洪水等による破壊に関する保険…これは剰余価値から補填されねばならないもの

#### (その他)

p262-修繕と補填、維持費と更新費とのあいだの境界は…流動的なものである。

- ・ 不断の論争…経常支出から支弁されるべきか原資本から支弁されるべきか。収益勘定か資本勘定か…

p263-農業における固定資本の補填と維持との分離は…実際には不可能で無用

- ・ 鉄道の車両の場合には、修繕と補填とは全く不可分である。

p265-計算方法の相違から生ずるもので、費目は資本勘定に記載されるか、収益勘定に  
されるかによものである。

p266-目立たない摩損と…目に付きやすい摩損

長期的摩損と…短期間の修繕または補填…

p267-(償却基金の必要性)

- ・ 貨幣の総量が退蔵貨幣と流通手段とに分割される割合はたえず変動する。

p268-退蔵貨幣は、交互に流通手段として機能してはまた再び退蔵貨幣として流通貨幣  
量から分離される。

- ・ 大工業と資本主義的生産の発展に必然的に並行する信用制度の発展につれて、この貨幣は、退蔵貨幣としてではなく資本として機能するのであるが、しかし、その所有者の手においてではなく、その利用を委された他の資本家たちの手で機能する。